法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-09

二大政党制の政治的意義

MASUJIMA, Ko / 增島, 宏

```
(出版者 / Publisher)

法政大学社会学部学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

Society and labour / 社会労働研究

(巻 / Volume)

5

(開始ページ / Start Page)

67

(終了ページ / End Page)

82

(発行年 / Year)

1956-03-25

(URL)

https://doi.org/10.15002/00008974
```

国の巨頭会談が開かれた。

つある一つの証左であった。ついで七月には、ジュネーブで四ケ 際的会議であった。それは、植民主義が世界的な規模で崩壊しつ

『両体制の平和的共存』の思想は大き

大政党 制 政治的意

は しが

イギリスの二大政党制 日本における「二大政党制」

二大政党制の政治的意義

るといわる。四月、バンドンで開かれたアジア・アフリカ会議は 九五五年は『バンドン精神』と『ジュネーブ精神』の年であ

しているアジア・アフリカ国家が挙行』(1)した、はじめての国

『西方植民地国家が参加せずに、自己の運命を掌握したいと切望

必要であるということは、国際的世論となった。 く前進を示した。冷たい戦争にかわって、善意による話し合いが このように国際

増

島

宏

政治を大きく転換せしめた原動力は、何よりも、

破滅的な原水爆

各国の民衆の力であった。 戦争を阻止しようとし、 『平和を飢えるように望んでいる』(2)

ことを、とりあげ、次のようにのべた。 で装備』といった砂田防衛庁長官の放言が相変らず行われている 『郷土防衛隊』『学生の予備幹部制』『自衛隊を原子ロケット砲 日本はどらであろらか。山川均氏は、昨年『世界』の 十月 このような世界情勢の中で『国防省の設置』 『国民総動員』

昨年三月ビキニにおける水爆実験をきっかけとして、日本にお 論はある。しかし、実力をもった世論がないのである』(3)と。 『いま国際政治を大きく方向づけているような 〝声 なき 声〟 世論というものは、わが国には存在しないのだろうか。

ける民衆運動の動きには注目すべきものがあった。原水爆禁止運

-(67)-

動 又、原水爆禁止の運動は、むしろ、世界の人々に訴え、大きな共 運動……これらの運動は世界の平和運動の重要な一 環 で あ り、 感をよび起したものであった。こうした民衆運動の高まりが、日 **うたごえ運動、憲法擁護運動、基地反対運動、** 婦人・母親の

Ŋ

日本の諸政党が模範とすべきものであろうか。イギリスの支

体制がないからである。日本共産党の党内の分裂、極左冒険主義 のであった。しかしながら、このような政党の大衆運動に対する と社会党の分裂、党組織の弱体、等は、その最大の障害をなすも を政治的に統合する大衆的政党あるいは政党・大衆団体の協力の ぜであろうか。それは様々な民衆運動を一定の方向に導き、それ だが山川氏の指摘する通り、真に実力あるものとならないのはな 本の国内政治の上で、一定の力をもっていることは事実である。

二太政党制は、あたかも民主主義の万能薬のようにその効能書が ジャーナリズムによって、財界によって、保守党の側からも、 並べたてられ始めた。その際、先づ引合に出されるのは、イギリ 会党の側からも宣伝されはじめたのである。 以上のような国内の政治的情勢の中で『二大政党制』の実現が 中村菊男氏(5) などの数多くの政治学者がつき従った。 この後には矢部貞治

全国協議会、両派社会党の統一の話合いはこの現れであった。 立遅れは、次第に克服の方向に向っていた。日本共産党の第六回

> 政党制は、 それは二大政党制の実現にあるのであろうか。こういった問題に 日本の民主主義の発展のためには、何が最も重要なのであるか。 大政党制の実現が、日本の諸条件で可能であるか、どうか。更に 配 ついて若干の考察を行らのが本稿の目的である。 体制の中で、その本質的な役割は何であるか。又、日本の二大 いかなる政治的意義をもっているのであるか。一体一

1 り(中央公論、 おける周恩来の「アジア・アフリカ会議に関する報告」よ 一九五五、六、二二、モスクワのディナモ競技場で行つ 一九五五、五、一三、全国人民代表大会常務委員会に 八〇二号、八二頁)

2 たネールの演脱より(世界、一一八号、五二頁)

5 3 4 山川均、 保守・革新の交代は可能か(新論、一九五五、 保守政党論 歴史のらねり(世界、一一八号、 (新論、一九五五年十月号) 参照 一三頁)

二大政党の対立と社会党

(民主社会主義、三三号)

上流階級の人々の手に放置され、 党を結成して以来、 の政治的利害はほとんど全く、トーリーやウイッグやラジカルの イギリスの労働者階級は、 長い間独自の党をもつことはなかった。 チャーチズムの時代に萠芽的労働者 およそ四分の一世紀の間、 かか

づくための諸方策であった。

では果して、イギリスの二大政党制が真に民主的なものであ

スの二大政党制の讃美であり、

ついで日本の政党政治がそれに近

ゆる、大自由党、の尻尾になることを主張しつづけて来た』(し ることによって、大衆の中から選挙の票をかき集めるためのもの Union of Conservative and Constitutional Society) いち早く、 ずかに、自由労働派として、若干の代表を議会に送りこんだにす であった。労働者階級は、この支配階級の網の目に把えられ、 七七)を結成した。これは選挙区に基礎をおく地方組織を確立す 全国自由党連合 (the National Liberal Federation) (一八 一八六七年、選挙権が都市労働者層に拡大されるや、 保守党は、 全国保守立憲協会同盟 (the National を自由党 ゎ

Democratic Federation)独立労働党(I.L.P.)(一八九三)が結 弱まるとともに、社会主義の宣伝がはじめられ、 成されるに至った。一九○○年、フェビアン協会、Ⅰ・L・P、 組織的運動が開始された。かくして、社会民主連盟 (the Socia 八八○年代になって、イギリスの世界における独占的地位が 不熟練労働者の

社会民主連盟の三つの社会主義団体およびT・U・Cが中心とな した。しかし、 産党が創立された。 大戦とロシア革命の影響の結果、労働党の右翼幹部に反対し、 た。』(2) 依然として、指導権は右翼幹部の手中にあった。第一次 会の中での分離にすぎず、資本家的政治からの分離で は な かっ 労働党の結成を準備し、一九〇六年正式に、労働党、は発足 『労働党の資本主義政党からの分離は形式的な議 一方、労働党も形式的には社会主義の目標を

名され、共産党の加盟も共同闘争の申し入れも常に拒否されて来 撃の方針をとっている。一九二五年には共産党員は労働党より除

このように、二大政党制は、

イギリスの独占資本の支配体制

保守党、労働党の二大政党の対立が生れたのである。しかし、自 進出に対して、 掲げた新綱領を採用するに至った。こうした労働者階級の政治的 由党はいぜんとして、二百万以上の得票を有する第三党としての 年の政治的経済的危機はこの傾向を決定的にした。かくして、 資本家の勢力は次第に保守党に結集した。

じたのは第二次大戦後のことであった。 存在を保っていた。保守党と労働党との型通りの二大政党制が生 ψ づけるものは何であろうか。第一には、その政策がどうあろうと 限度で、現在の階級的諸関係を反映している。だが同時に二大政 表現するものである。保守=労働の二大政党制の出現は、 かわって、労働党が出現したことは、労働者階級の政治的進出を 圧を援助した。又両党とも、 った。戦後においても、労働党も亦、アメリカの帝国主義に従属 る。両党は、ともに、本質的にはイギリス帝国主義の擁護者であ ける―をくいとめ、反体制化を阻止する役割を演じているのであ 党制は、労働者階級の革命的進出―本国および植民地従属国にお した政策をとり、かつ、 さて、以上のようにして成立したイギリスの二大政党制を特色 トーリー=ウイッグ、保守=自由の二大ブルジョア政党制に 朝鮮、 国内では一貫して共産党に対する排 マライ、 ケニヤ等の民族運動の弾

いるのである。 を維持し、労働者階級の革命化をくいとめる防壁の役割を演じて

党であることは、これ又事実である。では本質的には、独占資本 の政策を追及又は擁護しながら、広汎な支持をうるのはなぜであ しかしながら、 両党が、一三〇〇万以上の投票をうる大衆的政

ろうか。これを保証するものは、何よりも党組織と選挙制度であ

すいたサギ師であり、自由党組織は見破りにくいサギ師である という違いがある。』(3)と。 『両党ともサギ師(sham) なのだ、 ただ、保守党組織はみえ 結果次のようにのべた。

九〇八年ローウェルは、

保守党と自由党の党組織を検討した

ーウェルにつづいて控え目に次のようにのべた。 マッケンジーは、保守党と労働党の組織を詳細に研究した後、 ㅁ

ると言明されるであろう』(4)と。 『もし、自由党という言葉に労働党という言葉を置 き 換 え て ローウェルの指摘は、今日も同様に適切な意味をもってい

において専制的地位をしめていることである。なる程、労働党も も重要な点は、両党とも少数の議会における指導者の力が、党内 的な点に関する一致』(5)をみることができるのである。その最 溝は、次第に狭くなり『イギリスの近代政治史上殆ど最大の基礎 実際マッケンジーの分析によれば、党組織に関する限り、 両党の

> 大衆団体の本質的機能は、選挙民が毎年選出する議会指導者の二 保守党も、日本の二大政党に比べれば、はるかに強力な地方組織 と活動的党員をもっている。しかしながら、これらの地方組織や

導者、 よりもとるに足らないものとなっている』(6) のである。政策の つの集団を維持することなのである。 『議会外の大衆(follower)は、特別な連絡によって直接、 内閣、議会政党に働きかける高度に組織化された圧力団体

作成や指導者の選定、というような大衆団体の役割は全く従属的

なものとなっている。

法機関等に抜き難い勢力をもっているのである。これらのイギリ どの言論機関、上院、王室、高級官僚、高級将校、特務機関、

スの支配体制の中枢部は、数次の労働党内閣の期間にも決して手

である。しかも、長年にわたる支配の間に、B・B・Cや新聞な

保守党は、その人的構成からいっても、完全に独占資本の政党

のである。保守党にとって特徴的な点は、その党首の専制的役割 れらの支配層と徹底的に関らのではなくて、むしろ妥協していた をふれられることはなかったのである。労働党の右翼幹部は、

である。

ても-に決して拘束されることはない。しかも、党が国民に問 首は、提出された諸規定―いかにそれが強調された決定であっ 分や意見を知っておく必要から、党首に〝伝えられる〟だが党 『党大会の決定や各級機関の決定は、党首がかならず部下の気

ら綱領の作成については党首のみが窮極 の 責 任 を おっ て v

規約によって、公式に与えられる党首のこの重大な権限は、

幾

ロビイストの見解が下部に流されることを保証するものである。 百万の党員や選挙民の意見よりは、直接に働きかける独占資本の 労働党は、保守党に比べればたしかに民主的なよそおいをこら

右翼幹部を支柱としており、若干選挙民の意向を代表する左派は に握られているのである。現在、右派は主として、T・U・Cの liamentary Labor Party)の議会委員会(所謂 Shadow Cabinet) している。しかし、ここでも、決定権は常に議会労働党(the Par-

うにのべている。

選挙区労働党を基盤としている。

る。それは、下からの批判や意見よりも、少数の強力な圧力団体 もたないが、以上の叙述でも明かなように、 ことは、前にものべた、両党の政策における同質性とうらはらの の見解が上からもちこまれるようにできていることである。 の若干の相異にも拘らず、むしろ極めて同質的なものをもってい 今ととで、私は両党の党組織について、詳細に分析する余裕を 両党の党組織は、 との

スの小選挙区制度は、第一党の勝利を誇張するものであり、 される条件を具えているのである。 に、両党のリーダーは、窮極的には 関係にあるのである。従って、オストゴルスキーがの べ た よ ら 次に二大政党制を支えるものとして、選挙制度がある。イギリ "政党の黒幕" によって支配 同時

> る。一八九三年、エンゲルスはゾルゲにあてた書簡の中で次のよ た。一方、労働党は左翼の共産党の進出を抑えることができたの 政治的関心に訴え、既成の大政党を有利にする役割を もっ てい である。又その選挙制度は、死票を投じたくないという選挙民の 保守党は長い間、その得票数に比べて多くの議員を獲 得 して 来 に、第二党を小党の侵害から保護する作用をもっている。従って

うに政党政治を基礎にしており、その結果二つの支配的政党の いずれかに属さない立候補者に投ぜられる票は、ことごとく死 でいることは否定できない、第一に、憲法がイギリスと同じよ

『アメリカの諸条件がひじように大きな特殊な諸困難をふくん

我々は二大政党制の、この役割を重視しなければならない。 もっている。 けるために働くのである。二大政党制は、まさにこうした役割を なくて、その一定の高さの政治的関心を、支配階級の側にひきつ 階級は、常に選挙民のいわゆる政治的無関心に基礎をおくのでは

の右翼幹部との共同による支配体制である。しかし、私は、現在

主的なものではない。それは本質的には、独占資本と労働者階級 同様、自分の国に影響を及ぼしたいと望んでいる。 票になるように思わせる。しかも、アメリカ人はイギリス人と 小選挙区制に支えられたイギリスの二大政党制度は、 をすてるということをしないのである。」でもと。 かれらは票 決して民

りを告げてはいない。それは新な諸条件に即応する多くの新し 『イギリス帝国主義は腐りきっている。しかし、それはまだ終

ない。第二次大戦後の事態をみるならば、二大政党制の基盤をな す大英帝国の世界的規模の後退は誰の眼にも明らかである。 のイギリスの二大政党制が不変のものであると考えているのでは

戦的で、そして好戦的である。』(9) 往往にしていっそう死物狂いで、どうもうで、向うみずで、挑 は小羊となったのではない。それどころか死にかかった野獣は を吸いとるという長年の目的をひきつづき押しすすめんがため 殺したり、自らを清算するためでなく、植民地搾取の超過利潤 に他の地域では前進しようとしている。帝国主義の瀕死の野獣 である。それはある地域では後退しなければならないが、同時 い形態や術策を採用しようとつとめているが、そのことは、自

の平和と互恵の貿易を行うか。植民地人民に対する血の弾圧を続 策をとるか、それとも、ソ国盟中国をはじめ、社会主義諸国家と 換を要求されているのである。アメリカとの軍事的同盟と力の政 する軍事的弾圧費用の増大は、インフレの危険をはらみ、勤労者 きな反撃をうけている。又原水爆による軍備拡張と、植民地に対 の新な反撃をよび起している。イギリスは、今や大きく政策の転 な反対の世論ばかりではなくて、国内の労働者階級によっても大 に対する血の弾圧は、植民地人民の抵抗と、全世界の人民の大き しかし、現在ではイギリス帝国主義者のキプロス島(10) やマライ

> 治権賦与…… アメリカとの不一致、ソヴェト首脳のロンドン招請、マライの自 を樹立するか。……急激な政策の転換ではないが、 転換の兆しがみえていることは確かである。対中国政策における けるか、植民地人民の独立を認め平等の基礎に立った貿易の政策 徐々に、政策

することによって、決定的なものになるであろう。こうして、労 会が生れる可能性は開かれるであろう。 働者階級を中心とし、広汎な国民の意志を真に反映する政党と議 働党の右翼幹部を後退させ、労働党、共産党の協力の体制を恢復 しかし、このような政策の転換は、労働者階級が労働組合や労

註

- 1 F. Engels, A Working-men's Party, Marx Engels
- 2 J. Gollan, The British Political System, p.
- 3 Parties, p. 581. I, p. 584, quoted in, R. T. Mckenzie, British Political A. L. Lowell, The Government of England Vol.
- $\widehat{\underline{4}}$ Ibid., p. 581
- 5 Ibid., p. 581.
- 6 Ibid., p. 585.
- J. Gollan, op. cit., p.

 $\widehat{7}$

- R. T. McKenzie, 'Party Organization' p.
- (∞) Political Affairs, May, 1954, p. 18. British Party System (Synposium)

制は先ず、このような条件のもとで成立せしめられたことを考え

なければならない。では、この成立の歴史的事情はどうか。

を有する米軍の占領体制は、いぜんとして、政治の最高の決定権

してはいない。安保条約および行政協定、七百ヵ所をこえる基地

が議会外で取引されることを余儀なくしている。日本の二大政党

|勢独立の期間を通じて、国権の最高機関としての高貴な役割を果

半数には到底達しなかった。しかも革新諸勢力は三分の一の議席

社会党の合同は具体化して来た。十月十三日、遂に統一大会が行 合法的大衆活動を強化する画期的方針を決定した。この頃から、 服し、統一を恢復すること、従来の極左冒険主義を自己批判し、

七月、日本共産党は第六回全国協議会を開催し、党の分裂を克

昨年二月の総選挙は、民主党が第一党となったが、衆議院の過

10 9 送をおさへ、又、軍隊を増強して、 カリオス大司教を追放した。 へしなかつたような、 キ ーム・ダット、大英帝国の危機 プロス島の反英運動に対して、 妨害電波を発して、ギリシャの放 弾圧し、更に、 イギリスは、 ナチス

> た。先にもしるしたように一昨年三月以来の日本における民衆運 を確保し、なかでも左派社会党の進出は注目すべきもの

が あ

イギリスの現在の二大政党制は、その小選挙区制とともに、少

をもって来たにすぎず、戦後も、 多年にわたる議会と二大政党の歴史をもっている ので ある。と である。しかも、議会は戦前には天皇制のもとでほんの僅かの力 なくて、むしろ、両党の合同劇の結果形式的な成立をみたばかり れに反して、日本における現在の二大政党制は、選選の結果では くとも二十年にわたる歴史をもっている。しかもイギリスでは、 アメリカの占領政策と、形式的

同にすがろらとする人々……などの様々な潮流をらみ出した。 にうけいれて統一を推進しようとする人々 "政権近し" とみて合 のであった。しかし、両派社会党内には、との大衆の要求を卒直 何よりも全民主勢力の統一と団結を願う大衆的輿論におされたも 挙の際に公約した社会党の合同のうどきも活溌化した。 などは、恰も『政治同友会』(1) のようにうごき始めた。一方、選 経済同友会―の政界に対する働きかけも強化された。経済同友会 計画が唱道され始めた。この頃から経済団体―日経連、 による自由党の切り崩し、保守合同といった保守政党の再編成の それは、 経団連

われるに至った。

なかったような社会主義政党となった』(2)のである。 た、新しい社会党は、野党第一党となり、日本の歴史上かって 『国民大衆の切望と期待のなかで、社会党の統一は 敢 行 さ れ

この社会党の統一の経過における特徴的な点は次のように要約さ 合同の推進勢力―真の担い手は、労働者階級の統一、平和と

(2)。独立のための国民の団結を求める国民的輿論であったこと。 総選挙における左派の進出にもかかわらず合同は右派に対す

線の統一を主張し、無原制的な右派との妥協に反対していた。 張し、松本派(綱領研究会)は労農党をも含む全社会民主主義戦 和田派、野溝派、労農派等は、左派綱領の線を守ることを主

盤が固まるいわゆる中間派が最も積極的に合同を進め た に 対 し

左派社会党内では、鈴木派および統一することによって選挙地

る左派の譲歩によって行われて来たこと。

している。

問題となる西尾派は、統一綱領の作成の過程で、右派が有利とな 極的に合同を進めた、社民系もこれに追随したのであるが、最も 派では、主導権をもっていた日労系が左派の鈴木派と提携し、

強力な働きかけの中で行われたのである。

実的な」社会党となることを強調していた経済団体や、諸新聞の 義、階級闘争的であることを非難し、これを放棄してもっと「現 るや、合同に傾いて来た。とれは丁度、左派の綱領がマルクス主

合同後は右派は比較的統一を保っているに対して、

層分裂的な派閥をうむ傾向にあること。

を辞退し、西尾派の進出をゆるしながら、党内をまとめた。とれ 右派は合同の主導権を握った日労系の河上、三輪、 河野氏が役職

た。その結果、和田派、野溝派、労農派(学者グループ)松本派 が七役七局長のポストにつき、党内各派の役職争いに拍車をかけ に反し左派の鈴木派は、佐々木、伊藤(好)、安平、山本の五氏

等との溝を深めたと考えられている。このような人事と派閥の争

いは、合同した社会党の統一を弱め、右派の指導権を強いものと

に完成されるに至ったが、労働組合の統一、総評、 中央の社会党の合同につづいて、地方組織の合同も大体すで 全労、

別等の分裂状態はいぜんとして続いていること。

(5)とりいれられている。 和四原則の左派綱領よりはかなり後退し、右派の主張が大きく しているが、多くのあいまいな点を残していること、 統一綱領と運動方針は、表面的には平和と独立の方向をめざ むしろ平

派党大会の結論を経て、かなり民主的に行われたに対して、保守 われた。たしかに三木武吉氏が『政策が一致するなら合同の要は 合同は全く徒党的であり、黒幕の活躍と政治的取引の舞台裏で行 会が行われた。日本社会党の合同が、綱領と規約の一致承認、 社会党の合同につづいて、十一月十五日、自由民主党の結成大 せしめて来たことは充分に想像しうる所である。

余剰農産物の売上代金の使途等による多額の政治資金を

又、国内の経済団体の活溌な働きかけも注目すべきものがあっ

考えるべきだし

(中山興銀頭取)といった、復活し、立直って来

そのためには『保守合同を急速に進め、憲法を改正する』ことを ものにするために、海外派兵出来るよう再軍備を促進すること』 具体的な資料はないのであるが、日本側が『安保条約を双務的な きた姿も特徴的であった。といで我々は、日米の外交取引を知る に河野氏が余剰農産物の買付契約を終って、颯爽と日本に帰って って、大きな政治問題化したことは記憶に新しいことである。更 結果出された共同声明が西太平洋における海外派兵の約束をめぐ に河野氏の帰還以後のことであった。ここで重光、ダレス会談の ックスに達したのは、何といっても重光、岸、河野氏の渡米、特 を強引に作り出したのである。すなわち、保守合同劇がクライマ 米、経済団体の一致しての強い要望が議会における強力な多数党 出たとうわさされる十億の工作費』(3)と重光、岸、河野氏の渡 の利害のみが合同劇を多彩なものにしたにすぎない。『財界から の独占資本、大地主、官僚、旧軍人等の諸勢力の入り乱れた徒党 方組織とかは殆ど関係なく行われた。ただ、アメリカおよび日本 であろう。少くとも保守合同に関する限り、政策とか綱領とか地 でおきかえたならば、保守合同の本質を雄弁に物語るものとなる ないので、 一致しないからこそ 合同が必要なのだ。』といった言 こに政策という言葉を "徒党的利害』といった言葉

> い経営理念と新しい経営倫理』を普及し『議会政治を国情民情に な『議会政治擁護に関する決議』を行った。 更に実践綱領として、各地同友会に特別委員会を設け、 止ないし制限、大臣の営利会社役員の重任禁止などを行う』 会政治運営の障害となっている議員立法や、予算増額修正の ある……議会政治の権威を恢復するため憲法改正を行って、 守党の脱皮近代化と、社会党の政策の現実化が是非とも必要で 『保守革新の二大政党の対立時代が近づいて来たが、 昨年十一月十日、全国大会(4)が開かれた。 特に経済同友会の動きはめだっていた。保守合同 を そこで次のよう との際保 前 正し ĸ

た。

て、

る財界の意図が流れている。又『わがくに経済が、 多数をより所として、それを抑えるため積極的に努力しようとす 鋼管取締)というように、左翼勢力の進出の前に、議会における 化 したのは経営者のこれまでの努力の成果であることを前提として りの文句のほかに『革命に通ずる現象がしばしばみられるから我 たものであった。ここには労資一体論や新資本主義などのおきま げた。又大会における発言の内容は 1、 々は議会政治擁護のため体当りしなければならない』(伍堂日本 の抑制。2 政界の刷新 (憲法改正、選挙法改正、 適応させるとともに破壊勢力の発生原因の究明』を行うととを掲 3、公共性のめざめた新しい倫理―新資本主義―)といっ 反民主主義勢力の進出 政治資金の公明 ととまで恢復

その中には次のような言葉がある。 党制に対する財界の熱狂的な要望を充分反映するものであった。 日本経営者団体連盟、経済同友会の四団体は『国政運営に関する である。ともあれ、この経済同友会の大会は、保守合同と二大政 更に十一月二十二日には、経済団体連合会、日本商工会議所、 『……二大政党は国会内外における暴力を排して、民主議会政

要望声明』(5)を発表し、自由民主党、社会党首脳に手交した。

治のルールを確立するとともに、遵法精神を徹底堅 持 する こ と。自由諸国との協調を堅持しつつ外交を超党派的に推進する

止しようとする意図をかくしてはいない。 で、内外の独占資本の勢力は重大な役割を演じているのである。 以上のように保守合同を強行し、二大政党制を実現せしめた上

は次のようにのべている。

級を中心とする民主勢力の革命的進出を、二大政党制によって阻

この財界一致しての抽象的な声明は、平和と独立を望む労働者階

ے...ع

の合同に素朴な期待をよせたのと対象的であった。

一九五五、一一、

これは丁度、平和と民主主義の勢力の結集を望んだ人々が社会党

1 森下日本新薬社長の言葉、毎日新聞、

2 鈴木茂三郎、統一社会党のために、「与望に応えて」五頁

ことは事実である。だが同時に、内外の独占資本からの巨額な政

摘している。たしかに、日本の保守党が、広汎に残存する半封建 く、常に『天皇制的権威あるいは超越的勢力』に依存する点を指

的諸関係を温存し、強化し、それを有力な社会的基礎としている

又、保守政党は『政策の合理的判断』に基礎をもつもの

では

(4) 全国大会の記録は、毎日新聞一九五五、十一、十一、に (3) 新井達夫(毎日新聞社 "保守合同劇に警告する" 世界一二〇号、九〇頁 紙面審查委員長)

た日本の独占資本家の政界における自信をもみることができるの

よる。

5

每日新聞一九五五、十一、二十二、

四

万票を超える投票を獲得し、議会で三分の二の議席の しめ てい よって、徒党を結んでいることはよく知られている。彼等は二千 旧軍人等の代表者によって構成され、これらが複雑な利害関係に い。日本の保守政党が主として特権官僚、独占資本家、大地主、 のであろうか。その前に若干両党の特質にふれなければ なら な

かくして成立した二大政党制はどんな政治的意義をもっている

る。では、その地盤はどうして得られるのであろうか、石田雄氏

的な伝統的秩序を通じてである』(1)と。 『簡単にいってしまえば、地方有力者を頂点とする一見非政治 76 動』や、『秩序と伝統の中に進歩と繁栄を』(2)といった唱い文 ペテンを考え出すであろう。『経済六ヵ年計画』『生産性向上運 心が高まれば高まる程、保守党は、国民の政治的関心をとらえる ロギー活動をつうじてくいとめるとともに「合理的政策」を提示

れつつある時、保守党はますます、これらの権威の崩壊をイデオ 巨大なアメリカや反ソ宣伝などの『超越的勢力』が次第に破壊さ である。伝統的秩序が崩壊しつつあり、天皇制の権威が弱まり、 はないであろう。彼等は少なくとも大部分は背広を着た市民なの

し、国民をひきつける心要に迫られるであろう。国民の政治的関

共、反社会主義の日常的宣伝が至大な役割を果していることを見 治質金や利権による買収、ラジオ、新聞、テレビによる 反 ノソ反

のである。たとえば、

がこれらの文面の裏には保守党の欠陥と苦悩がはっきりと伺える

『家庭と生活に直結する国民組織と、国および民族の生産なら

明化を等を唱い文句として、広汎な大衆を把んだためである。従 は、中ソとの国交恢復、住宅の建設、社会保障の強化、政治の公 なければならないであろう。又前回の選挙で民主党が躍進したの

着てチョンマゲを結った侍や諸侯の姿になぞらえることは正しく

って、日本の保守党を伝統的秩序の上に端坐しているカミシモを

びに消費活動の中に深く根をおろした産業組織の二つを確立し

なければばならない。**』**

『進歩的国民政党として成長するためには、従来の「選挙組織

から脱皮しなければならない「共通の政治的意識によって組織

は、組織活動があらゆる生活に直結して、家庭の台所にまでふみ とまねばならない。職場によって組織化され、階級闘争に駆

立したハダカの政党で最も弱体である。これを克服するために された国民の背景」をもたない「議員だけの政党」は大衆から弧

闘争に駆り出されたまま放任することは、我々の怠慢である。

たてられる労組員も家庭の一員である。この平和な国民を階級

のべ、とのために中央地方の組織を整備し、 とのように経営、家庭にまで組織活動を行おうとする基本方針を

展開することにより、党と国民大衆の結合をはかる。 組織局)を設置、国会活動に呼応して、常時機動的な党活動を ①『新党は党本部に強力な中核指導部(組織本部組織委員会又は

昨年 組

2

定して、全国的な組織指導にあたらしめる。 地方組織の地固めと党員登録、党費制の確立』 新党本部の指導部に組織指導の専従者を配し、

地区担当を決

3

をはかることを唱っているのである。この組織方針は、 旧来の保

77)—

十月二十三日、自由民主党は、組織要綱案、経済文化組織案、 させるために、保守党は、地方組織強化の必要に迫られる。 句……等は、その一つの現われである。これらの「政策」を滲透 織活動要領案を発表した。(3) これは丁度『用語発想ともに共産

党のものを裏返しにしたようなところさえ』(も) 見えるものであ

り、到底、実行可能な或いはまじめなものとはうけとり難い。だ

をおくか、伝統的秩序による政治的無関心に基礎をおくかの岐路 **ら筈はない。従って、日本の保守党は、政策の合理的判断に基礎** る。保守党である以上―独占資本や大地主の利益を擁護する以上 地主の階級的利益を擁護する――を強化することを要請されてい 党の本来の機能、―「大衆的」基礎の上に立って、独占資本、大 民主的なことではないか! めの小選挙区制度。イギリスは日本より「近代的であり民主的」 では両者を結合する道は何か。イギリス式の二大政党制、そのた 両者を結合することのみが保守党の地盤を確保する道であろう。 に頼りつつ、同時により民主的、近代的な装い を こ ら し、より にたっているのではなくて、旧来の伝統的秩序と権威の復活強化 イギリス保守党の場合と同様に、真に民主的な地方組織などあろ ―真に大衆的な支持を得る合理的政策など打出せる筈はない。又 地改革によって失った地主の土地の補償をやる。……しかしなが 軍を設け海外派兵の用意を整える……又、農業団体を再編成し農 である。このイギリスの制度に学ぶのである。何と近代的、何と ら軍国主義の復活によって、内外の独占資本、地主勢力を中心と 「合理的」な政策をうち出す必要に迫られているのである。との 『空気と同じように有難味のある』(6) 天皇を元首とする。国防 だが同時に憲法の改正を主張する。

> する支配層の要求を揃えつつ、同時に国民の「支持」をうること ス保守党程の巧妙さを持ち合せていないようである。 は果して可能であろうか。この日本のペテン師は、やはりイギリ

もたず、徒党的性格をもっているのと同様に、

日本社会党も多分

日本の保守党が、いらにたる地方組織も、一定した政治理論を

る保守党の苦悩の一表現である。現在保守党は、経済団体からも 守党の権威や地盤の崩壊をくいとめ「近代性」を加味しようとす

『現在の各界各層のうちで政界が最も悪い』(5) といわれ、保守

党が、諸外国の社会党に比較して考えられる最大の特色、 が、社会党の真の基礎をなしているとは考えられない。日本社会 すれば、かなり民主的な党内組織と、民主社会主義、 万人カンパを訴えている。(7) このことは実際の党員数が十万人 針の組織活動方針は『新しい党づくり』のため、党費完納党員十 クス主義等の理論をもっている。だが、これらの理論や大衆組織 に、こうした性格をもっている。勿論日本社会党は自民党に比較 は欠陥は、その下部の党組織の弱体である。一九五六年度運動方 労農派マル あるい

合とともに、資本家団体、財閥系会社等から多くの政治資金をう 金規正法による届け出の資金を見ても、 に外部団体の寄附金に依存していることを物語っている。 を遥かに下廻ること、党財政が、個人の党費ではなくて、 両派社会党とも、 全面的

けている。

民層にあることは事実である。だが、このうちのかなり の部 分 とができるのであろらか。この支持層が労働者階級、 労働組合、 農民組合等の大衆団体の組織票、或いは社会民主 農民、 小市

では、日本社会党は、いかにして一千万以上の票を獲得するこ

が

政治的意義をもつであろらか。第一に二大政党制の出現は、或程 られない。では、 要求をくみどり、これを充分に指導する力をもっているとは考え 幹部が様々な分派に分れている社会党の現状は、決して、大衆の 働組合の一部の幹部のみによって政策が決定され、しかも、その 団の結合も生れた。強固な党組織をもたず、幹部の議員達や、労 策を中心とした党風の樹立を訴えている。又労働組合出身の議員 足した。これは、党内デモクラシーの確立、私党的立場でなく政 主張している。(๑) 更に和田氏を中心として『政策研究会』が発 論が渦巻いている。統一した社会党内でも西尾氏等の右派は、共 といわねばならない。しかも党内部には、種々な派閥と様々な理 党は党組織の面でも、支持層の面でも、全く不安定な状態にある る社会党に素朴な期待をよせているのである。従って、日本社会 なる政治勢力に期待したらよいのであろうか。 の革命的闘い、平和と犷立のための統一行動の先頭に起つことを て広く財界をも抱きこも~とする。(8) これに対し て、 『平和同志会』は、平和 さて以上のような両党の現状のもとで、二大政党制は、 世界労連に反対する立場を明確にし、所謂現実政策をとっ 生活の向上……等の大きな期待をよせた国民は、一体いか 再軍備に反対し、 統一した社会党に、平和と独立のための国民の 原則を掲げ、基地反対闘争などの国民 独立と平和と生活の向上を保証す 左派 どんな

> 進的部分だけではなくて、国民の全階層が動き出したことであっ 働者階級を中心とする国民の統一と団結の熱望が、 度、大衆運動の高まりと力の増大を反映していることである。 業者、商人、医師の運動……これらはすべて、全国民が、 大な戦闘力を示したものであった。 が起り、近江絹糸、日鋼室蘭等のストライキは、労働者階級の偉 大政党制は、平和と独立を求める大衆運動の昻揚に対応し、 を促進し、二大政党制を出現せしめた要因であった。第二には二 主婦やおばあさん、子供をも動員した各基地の反対運動、 反対署名、家庭の主婦の生活擁護、 た。従来みられなかったデパート、ホテル、銀行等のストライキ のべたように、一昨年以来の民衆運動の特徴は、労働者階級の先 の支配層がめぐらした防壁の役割をしていることである。先にも 又三千四百万をこえる原水爆 売春禁止の運動、 社会党の合同 母親大会、 中小企 労

主義への支持票であるとしても、

又か なりの 部分が浮動票であ

育成―社会党よおとなになれ、社会党よ現実的になれ、 援助を仰がざるを得なかったのである。 会のように動かざるをえなかったし、保守党の幹部は、 重大な抵抗をらけた。こらした状況の中で経済同友会は政治同友 左翼化をくいとめ、 現体制の中にとどめておくために、 同時に、彼等は、 渡米し、 そらすれ 社会党の 国民の

際政策、 あった。 職場で地域で、自らの生活の問題を、生活に直結する平和と独立

の問題を自らの手で解決するために動き出したことを示すもので

保守党の地盤は大きく揺ぎつつあった。アメリカの瀬戸 力の政策の重要な一環である憲法改正と再軍備の政策は

兄 れた。鳩山氏は語る。 天皇家の写真とともに、鳩山、鈴木両氏のにとやかな顔が掲げらめ とを考え出したのである。一九五六年の元旦の諸新聞には恒例のは さを考え出したのである。一九五六年の元旦の諸新聞には恒例のは 守党と並んで、米国反動勢力の日本支配の車の両輪にしたてると感 抜きにし、革命政党ではなくて改良主義政党にし「近代的」な保

ば、政権は近きにあるのだ―を唱え出したのである。社会党を骨

動に貢献した』(12)といった言葉が内閣の首脳から関かれるようう少し成長すればいいんだね結局。……社会党がもう少し成長すればいいんだね結局。……社会党がもう少し成長がある』(11)との国交恢復、社会保障費の増額、住宅の大量建となった。中ソとの国交恢復、社会保障費の増額、住宅の大量建となった。中ソとの国交恢復、社会保障費の増額、住宅の大量建となった。中ソとの国交恢復、社会保障費の増額、住宅の大量建となった。中ソとの国交恢復、社会保障費の増額、住宅の大量建となった。中ソとの国交恢復、社会保障費の増額、住宅の大量建める。(11)とか、『太平洋戦争で日本は東南アジアの民族解放運動に違うのは共産党ばかりじゃないかな。社会党がもある』(11)といった言葉が内閣の首脳から関かれるよう

には、イギリスの二大政党制を支えるものはイギリス 帝 国 で あ制」の基盤すら日本には存在しないのである。その理由は、第一ろう。かなりの国民の期待にも拘らず「イギリス式の 二大 政 党る暴力によってふみにじられる所には、議会政治は育たないである暴力

り、党の下部組織も、その政治的役割はとにかくとして、かなりり、党の下部組織も、その政治的役割はとにかくとして、かなり大政党制と議会は、資本主義の発展とともに永い伝統をもっておけって、階級闘争は必然的に尖鋭化せざるを得ない。ましてや、従って、階級闘争は必然的に尖鋭化せざるを得ない。ましてや、だって、階級闘争は必然的に尖鋭化せざるを得ない。ましてや、だって、階級闘争は必然的に尖鋭化せざるを得ない。ましてや、だって、階級闘争は必然的に尖鋭化せざるを得ない。ましてや、だって、階級闘争は必然的に尖鏡本の資本主義は、アメリカの従属主義の繁栄である。しかし、日本の資本主義は、アメリカの従属主義の繁栄である。しかし、日本の資本主義は、アメリカの従属主義の繁栄である。

を担っているのである。

を担っているのである。

を担っているのである。

を担っていた。

なのを阻止し、小選挙区制、憲法改正、再軍備、って、大衆の左翼化を阻止し、小選挙区制、憲法改正、再軍備、って、大衆の左翼化を阻止し、小選挙区制、憲法改正、再軍備、って、大衆の左翼化を阻止し、小選挙区制、憲法改正、再軍備、のとしたのように日本の二大政党制は、歴史的社会的条件から生れ以上のように日本の二大政党制は、歴史的社会的条件から生れ

(**建**

端駅の小さな職場大会に、潜行三千里の勇将が警官隊とともに赴

スト対策本部には査察部に辻政信、

真崎勝次の旧軍人を配し、田

なって来たのである。真実の大衆の要求と民主的世論が、公然たいた。公然たる軍国主義の復活と民主主義の破壊が現実の問題と

るかもしれないという防衛庁長官の言葉もあった。自民党のゼネ

になった。総評傘下の労働組合のストライキに自衛隊を出動させ

統をもっていない。整備されているが、

日本には議会も二大政党も、これを支える伝

-(80)-

以上の叙述でも明らかなように、二大政党制は、

保守党

- 2 自由民主党本部のビラより石田雄、保守政党の歴史的特質、世界一二〇号、九七頁
- 3 日新聞一 九五五、 一〇、二三、夕刊より
- 4 二大頁 中野好夫、 鈴木社会党委員長に問う、中央公論、八一〇

道は、

すものは、

5 夕刊、 日経連会長、 石坂泰三談、毎日新聞一九五六、三、六、

6

一九五六、三、七、

衆院内閣委員会における濟瀬文部大

- *前掲、「与望に応えて」 一四九頁
- 8 六、一月号参照 西尾末広、二大政党と労働運動の進路、 「経営者」一九
- 9 「平和の同志」 平和同志会機関紙 東京新聞 一九五六、 一二号参照
- 一九五六、三、 一九五六、二、二九、 八、参院予算委員会における重光外相の 参院予算委員会における鳩山首相

の共産党の著しい前進は『自然発生的にせよ、意識的にせよ人民 れを議会政治に反映させてゆくことが何よりも望ましいことであ 国民の運動と要求を、 大衆組織を整備し、党組織の民主化を行い、最下層に至るまでの っている。当面との社会党、 な連絡をもっており、革同系の労働組合にはかなりの影響力をも 党組織をもっているにすぎないが、社会党内の平和同志会と密接 党員をもっているのである。労農党は、それ自体としては小さな **ら。まして、日本共産党は社会党に比べ、遥かに強固な党組織と** の解放の道をさし示すならば、その影響力は一層増大するであろ 産党が創造的なマルクス・レーニン主義思想で武装し、日本国早 位を実物を以て教育するであろう。この世界情勢の中で、 大衆を社会主義思想に接近させ』資本主義に対する社会主義の優 もし、この三党が真に大衆の信頼を得ようとするならば、行 平和と独立と民主主義の方向に指導し、こ 共産党、労農党の革新勢力が、真に 日本出

$\widehat{\Xi}$

っている中に出現した。 ない時に生れた。政治への不信、議会政治への不信の空気が拡が 体からも不信を買い、社会党も亦、国民の広汎な翌求を統合し得 の地盤が動揺し、保守党は内紛を繰り返し、国民からも、経済団 しかも、この二大政党制の幻想 は早く

> も、打ち砕かれようとしているのである。 会主義制度の急速な発展と、ヨーロッパからアジヤにわたる諸国 以来、漸く立直りをみせている。 を組織し、実力ある世論を作りあげることである。この役割を果 るのであろらか。政治への不信をなくし、 の分裂と極左冒険主義によって、大衆の不信を買ったが、六全協 国民の真の世論を議会に反映させることである。 革新政党以外にはありえない。共産党は、嘗て、党内 ソ同盟、中国をはじめとする針 議会の権威を恢復する 議会政治は一体どうな 声なき声 (81)-

追

自民党は三月一九日、小選挙区法案を国会に提出し、その選挙

にいたします。」という岸幹事長の言葉(三月十四日、朝日)や、 区割を発表した。これは『現議員は責任をもって当選できるよう 『との区割で落選する与党議員があったらよほどの選挙下手か問

引に可決されるならば、それは選挙区のボス支配と買収をほしい 団体が全力をあげて阻止しようとしている。もし、との法案が強 に対しては、社会党、共産党、労農党をはじめ労働組合等の大衆 に、余りにも露骨な自民党本位の選挙法案である。との選挙法案 抜けだ』という某党幹部の言(三月十九日、朝日)が 示 す よ ら

不信を増大し、軍国主義的、暴力的政治に道を開く可能性がいよ いよ増大することは明らかである。 て、政局は安定するどころか、かえって国民の議会政治に対する

82)

ままにし、死票を驚異的に増大させるであろう。このことによっ

め国民の圧倒的多数を統一戦線のもとに結集するならば、その暴 情勢のもとで、もし、日本の労働者階級とその党が、農民をはじ 極めて大きいと考えねばならない。しかし、現在のような国際的

議会における多数を、暴力で否定する可能性は、日本の場合

力を阻止し、議会における多数を実力あるものとすることは必ず

しも不可能ではないであろう。

議会政治の危機を克服し、民主主義を発展させる道は「二大政

」ではない。それは、実力ある世論を作ることであり、

その

衛隊が、アメリカの軍事顧問団や日本の軍国主義者の手中にある る。勿論、七百ケ所以上に亘るアメリカの軍事基地が存在し、自 には、議会内で革新諸党が多数をしめることが決定的に重要であ

と自主独立の外交政策を打出すことができるであろう。

このため

し、保守党内の進歩的分子や財界の一部をも協力させ、平和共存 ば、その時こそ、実力ある世論が、軍国主義復活のコースを阻止 働組合、農民組合、青年婦人団体等の統一と参加が得られるなら 動の統一は可能な筈である。この革新諸党の協力を中核とし、労

歩作りあげることである。 ためには、革新諸党および民主的諸団体の強固な統一戦線を歩 (一九五六・三・一〇)